

## 平成24年度第1回ふれあい座談会

主 催	ふじみ野市私立幼稚園PTA連合会
テーマ	市長との子育てにかかわる意見交換
日 時	平成24年11月28日（水）午前11時～正午
場 所	市民交流プラザA会議室
参加者	34人
市	市長、子育て支援課長、都市計画課長、秘書広報課長、秘書係長、広報広聴係長
市 長	<p>おはようございます。今日はふれあい座談会ということで、皆さんお忙しい中ですが、お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>時間も1時間くらいしかないということですので、あまり冒頭でご挨拶をしてしまうのもいかがかと思いますが、1点だけ、皆さんの関心事というか小児救急の話をさせてください。新聞等の報道でご覧になっていると思いますが、朝霞医療圏にある志木市民病院が小児の時間外の診療を閉鎖してしまうということで、この間の市長面談でもお話しましたが、1次救急は、我々は東入間医師会にお願いしています。2次救急は県が主体で整備すると決められていますが、医療機関の方が受けてくれないということで難航しておりまして、この地域でいかに小児救急を確保していくかがということが課題になっています。その中でイムス富士見が週に2回ですが受けていただけただけということで、朝霞医療圏ではありますがこの2市1町の病院であり、この地域の小児救急を担っていただけるということで我々も負担金を支払うことにいたしました。当然のことながら川越医療圏は埼玉医大川越医療センターが年中無休でやっただいておりますので、こちらは通常通り利用いただけるという状況です。この1点だけをご報告させていただきます。</p>
司 会	<p>子育てをする中でもう少しこうだったらいいなと思うアイデアなどを気軽に話し合える場にしたいと思います。初めての</p>

<p>参加者</p>	<p>座談会なのでどうなるかわからない部分もありますが、来年度のP連の在り方にもかかわってくるのかとも思いますので、よろしくをお願いします。</p> <p>座談会に入る前に、この間の市長面談で障がい児の受け入れについて1項目だけ質問できていなかったもので、まず質問という形をお願いします。</p> <p>子どもの発達障がいに関してですが、特にことばの成長に不安や悩みを抱く保護者は多く、相談窓口である保健センターは3カ月くらいの順番待ちの状況だそうです。気軽に相談できる窓口を大井地区内にも増やしてほしいと思っています。発達障がいの種類を明確に分けて判断することは大変難しいとされているため、乳児検診のときや市が指定した医療機関を紹介していただいたりして、統一した診断や相談を受けられるようにしてほしいということです。市のホームページや広報誌、保育所など関係機関や専門職が連携し、子どものことを相談できる地域の専門機関の情報を知らせてほしいと思います。</p> <p>幼稚園には巡回相談員が来るようで、聞いたところではふじみ野市と富士見市から職員が1名ずつ来ているとのことですが、もっと回数を増やしてほしいと思います。巡回相談員は富士見市の職員が主体になって活動していると聞きましたが、ふじみ野市が主体となった巡回相談員制度を充実していただき、保護者や幼稚園との連携、学校との情報共有、支援体制をつくってほしいと考えています。</p> <p>私の幼稚園でも発達障がい児を数名受け入れていると聞いています。しかしケアが必要なため、私立幼稚園が受け入れを増やすためにも市からの援助をお願いしたいと思います。</p> <p>ふじみ野市では、障がい児として判定のつく乳幼児及び幼保在園児の統計はありますか。現在、出生前診断のことが騒がれていますが、安心して子どもを産み育てられる環境づくりをお</p>
------------	--

<p>子育て支援課長</p>	<p>願いたいと思います。</p> <p>発達障がいの中で市に相談に来られる方は増えていますので、保健センターや子育て支援課、障がい福祉課で話し合いをしており、将来的には発達支援センター的な機能を有するものをつくりたいと考えているところです。</p> <p>相談窓口のことですが、保健センターのほかに子育て支援課の児童福祉係でも相談を受けております。また、大井保健センターの中に家庭児童相談室を設置しております。常時相談員がおりますので、発達に関する相談をしていただければと思います。直接面談も電話で予約をしていただければ可能です。</p> <p>ふじみ野市大井の風の里保育園の中に風の里学園があります。こちらでも保護者の皆さんへの相談や援助を行いますので、ご利用ください。</p> <p>統計については、保育所では障害者手帳をお持ちの方や医者からの診断がある方などは把握しています。幼稚園につきましても同じ状況だと思います。</p>
<p>参加者</p>	<p>障がいを受け入れたくなくて、障害者手帳を申請しない人もいると思います。財政的に厳しいのは分かっていますし、障がいの程度や部位にもよると思いますが、幼稚園が受け入れを増やせるようになるためにも補助金のようなものがあると思います。</p>
<p>参加者</p>	<p>乳幼児健診の際などに発達が遅れ気味だからと言われる人が増えているように思います。ふじみ野市は、主に発達や言葉がゆっくりなお子さんなどを対象に相談や遊びの教室を行うさくらんぼ教室がありますが、親も精神的に不安を抱えていると思いますので、気軽に通えるコミュニティの場があってもいいのかなと思います。</p>

<p>子育て支援課長</p>	<p>皆さんがおっしゃるように、手帳を持っていないし医師の診断もないけどケアが必要だと思われるお子さんは多いと思います。保育園は県からの補助金の申請の際に、手帳を所持していない人でも診断書があれば、補助の対象に認めてもらえる制度があります。</p> <p>気軽に通える場所を、ということですが、家庭児童相談室でも障がいのある子ども向けにトゥインクルという育児支援事業を実施しています。少人数で実施していますのでご利用いただきたいと思います。</p>
<p>参加者</p>	<p>導尿という医療行為が必要なお子さんが、幼稚園が決まらなくて困っています。幼稚園に対しては保育所のような補助金はないようなのですが、幼稚園が経営努力をして、障がい児の受け入れを増やしている現状は大変なことだし、理不尽だと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>そうですね。まず幼稚園ですが、幼児教育は義務教育ではないですよ。保育所は保育に欠ける家庭のお子さんをお預かりする場です。つまり、幼稚園は行かなくてはいけないとか行かせなくてはいけないということであり、国として幼児教育を受けさせようということにもなっていません。これがまず大原則です。</p> <p>それからもし、医療行為が必要なお子さんを保育所で預からなければいけないとなったときは、市は看護師を配置しなくてはなりません。保育士を増やせばいいということではないんですね。幼稚園でも好意や善意で、障害者手帳の申請まではいかないケアの必要なお子さんの受け入れは精力的にやってくださっていると思いますが、先ほどのお話にあった「障害者手帳を取得したほうがいい」というアドバイスも、決して幼稚園のためではなく、私は子どもたちが今後成長していくうえで何が一番望ましいのかを考えていくという重要なアドバイスだと</p>

<p>参加者</p>	<p>       思いますよ。ただし、お母さんが受け入れづらいというお気持ちもわかりますが…。     </p> <p>       市でも発達障がいについての相談の部分は力を入れていきたいと考えていますし、本日はそういう生の声を聴かせていただいてありがたいと思っています。     </p> <p>       たとえば、議会で新しい制度をつくっていこうとして、議員の人たちと話をするとき、「実際に就学前のお子さんを育てている親の人たちがこう言っていた」という事実は重要です。時間はかかるかもしれませんが。地方自治体もそれぞれ財政的な事情などもあり、いろいろな課題を抱えていますので、本来でしたら国の発達障がいに対する施策が充実してくれれば我々も取り組みやすいのですが。     </p> <p>       私は子どもたちが障がいの有無にかかわらず、この世に生を受けて育っていく中で、親だけではなくて地域で支えていくことが最も重要なことだと思っていますので、そういう意味では、幼稚園P連の皆様の前ですが、幼稚園に通えるか通えないかというだけの議論ではないように思います。ただし、受け入れやすい環境づくりを作っていくことは必要だなと感じています。     </p> <p>       私はさくらんぼ教室を利用していたことがあります。システム自体はとてもいいと思います。しかし、親は不安でいっぱいなのに、残念ながらアドバイザーとして結論というか具体的なものが一つも提示されなかったんですね。そこでセカンドオピニオンの話をしたら、「そちらを受けると、もうこちらを利用することはできません」と言われてしまいました。     </p> <p>       結果として、懇意にしているかかりつけの先生に相談したら、さくらんぼ教室とさほど変わらない問診内容なんです。でも、一言二言違うだけなんですけど具体的なことを示してくれました。親はそれで安心するのに、さくらんぼ教室はどうして言ってくれないんだろうと思いました。     </p>
------------	--

<p>市長</p>	<p>この場に担当者がいないので詳しい事実関係は分かりませんが、調べてみたいと思います。</p> <p>明日、今年度最後のタウンミーティングがあるのですが、56回開催して2,000人以上の方とお会いしています。直接対話すると千差万別、一つのもののことで考え方が真逆な方もいらっしゃいます。直接話を聞いているとケースバイケースなんですけど、私の話で満足される方もいますし、そうでない方もいます。私も市の事務すべての詳細をわかっているわけではないので、先ほどのような場合はすぐに担当者に調べさせています。</p>
<p>司会</p>	<p>ほかに何か市長に聞きたいことはありますか。</p>
<p>市長</p>	<p>今みたいな話でいいですよ。これは納得できないというような話ですね。担当の部署も当たり前だと思い込んで事務執行しているところもありますから。私も市民の皆さんから選んでいただいた立場ですので、事実確認をして誤っているところがあれば変えていくのが改革だと思っていますから、本日のようにいろいろ直接お話を伺えるというのはいいことだと思っています。</p>
<p>参加者</p>	<p>家の前が私道で、市に相談して断られたんですが、江川緑道にぶつかるところにカーブミラーを設置してほしいと思っています。一方通行なので結構なスピードで車が通行していて危険を感じています。実際、息子が車と接触したこともあります。私道だから設置できませんと断られたのですが、何とかならないでしょうか。</p>
<p>市長</p>	<p>現場を見ないと何とも言えないですが、基本的には設置できません。まず、危険な場所というのは市内に相当数あります。そこにすべてカーブミラーを設置することはできないということをご理解いただきたいと思います。</p>

参加者	江川緑道でもカーブミラーがついているところがあるのですが、事故があったというような危険な場所を把握して、設置の検討をしていただければと思います。
都市計画課長	市長が話したように私道へのカーブミラー設置は難しい状況です。開発状況にもよりますが、現在、開発の多くは開発後、市に道路分を寄付して、私道ではなく市道として市が管理するパターンが増えています。以前に開発された場所の私道も条件はありますが、所有者全員の同意のもとで市に寄付することができます。このような方法でカーブミラーの問題を解決することもできるかもしれません。一度道路課にご相談いただければと思います。
参加者	図書館で子どものためにいろいろな絵本や本を借りています。ふじみ野市は図書館の充実が図られているので、とてもうれしく思っていますが、私たち子育て中の主婦は自分のための読書をする時間が取りにくいと感じています。そこでショートショート物語やエッセイなど簡単に読める本、あるいは子育てのアイデアや料理の本などを司書に選んでもらい、コーナーを設置していただければ、読書で気分がリフレッシュできていいなと思っています。
市長	わかりました。それは図書館に伝えます。このような提案などがありましたら、「市政への提案」としてご意見をください。そのときは匿名ではなく、お名前を記入してくださいね。「市政への提案」は担当職員だけが目を通すのではなくて、私自身がしっかり目を通していきます。苦情でも結構です。苦情でも言っていただくことが大切なんです。
参加者	私が子供のころは、小学校にオーケストラが来て鑑賞会を開

	<p>催したり、劇団が来て劇を上演したりなど、音楽や芸術に触れる機会が多くあったのですが、最近はその話をあまり聞きません。子どもたちが身近で音楽や芸術に触れるといいと思うのですが。</p>
市 長	<p>そうですね。私もそう思います。ただ、現在、学校は時間がないのも事実ですね。学校完全5日制で、学校は土・日休みになりましたが、その分、先生も忙しいんですよ。</p> <p>川越市ですが、東邦音楽大学や尚美学園大学とか近くにありますので、学生に子どもたち向けに演奏をしてくださいと頼めば、喜んでやってくれると思います。子どもたちが芸術に触れたり、親しんだりするということはとてもいいことですから、教育委員会に話をしてみます。</p>
司 会	<p>昨日、香取第2幼稚園でも音楽会がありまして、子どもたちがキラキラした目で見えていたのが印象的でした。ここだけで終わらせてしまうのはもったいないので、ぜひ小学校に入っても続けてほしいなと思います。</p>
市 長	<p>市内にも楽器が演奏できたり、演劇をやっているという人もいますので、そういう人を活用していければいいですよ。そういう人をご存知でしたら、情報を提供していただいて教育委員会を通して幼稚園や学校に派遣できたらいいですよ。</p>
参加者	<p>私はふじみ野市に越してきてよかったと思ったのは、太鼓が好きなんです、このまちは太鼓が盛んですよ。祭りのたびに楽しみにしています。太鼓のまちとしてイメージアップを図ったら面白いんじゃないかと思っています。</p>
市 長	<p>今、学校単位でお祭りをやっていますが、その際も地域の方</p>

やサークルが太鼓をやってくれたり、「おやじの会」の人たちが大きな鉄板でジャンボチャーハンを作ったりとかしてくれていますが、子どもたちには芸術はもちろん、地域の人たちとのふれあいということを経験させてあげたいと思います。

ことは金環日食がありましたが、全小中学校で観察会を実施することができました。県内ではふじみ野市だけだと思います。ちょうど登校時間がピークと重なってしまいました。そのため1時間早く登校させましたが、それは登校中に日食を見ていたら危ないからなんです。でも、1時間早めるというのは大変なんです。先生だけが早く来ればいいということではなく、交通指導員の人たちにも協力をお願いしました。それから、スクールゾーンの規制の時間は変わらないので、市の職員がボランティアで道路に立哨して子どもたちの安全を確保しました。

ふじみ野市では「子ども優先」ということでやっていますが、市の年間予算は大体300億円ぐらいなんです。身近に考えていただくために、30万円としましょう。例えば、会社が不況でお金が入ってきそうもなくとも、子どもに必要なものがあれば何とかしませんか。家にお年寄りが出て「具合が悪い」といえば、薬を買いますよね。これは市の財政とまったく同じです。ふじみ野市は近隣と比較してもけっこう教育費を確保しています。こども医療費もようやく中学3年生までの現物給付ができるようになりました。中には、この負担を県でやってほしいという自治体もあるんです。確かに県でやってもらえれば、その分の財源を学校教育や子育てに使えますからね。私は本当は医療は小児救急も含めて、ナショナルミニマム【国家（政府）が国民に対して保障する生活の最低限度（最低水準）のこと～ウイキペディア】だと思いますので、政府が今の時代にあった政策を考えて実施してほしいと思います。

話は変わりますが、最近、サービス付き高齢者向け住宅（サ高住）が市内に作られようとしています。以前は高齢者専用賃貸住宅（高専賃）と言われていたんですが、国が介護の制度を

変えました。このサ高住の問題点は住所地特例というのがなく、ふじみ野市に住民票がなくても住んでいる人には、ふじみ野市が介護給付をしなくてはならないということなんです。財政を圧迫しかねないわけです。でも、建築に対して規制をかける権限が市町村にはないんです。

私は子育てしやすい環境をつくって、子育てをしている世代、現役世代の人たちにたくさん住んでいただきたいというのを政策にしています。自然増する高齢化率に対抗するためには、若い世代つまり分母を増やすことが大事なんです。現在、2市1町で一番人口が多いのですが、この数年間で3,000人くらい増加しました。このうち、約75%は子育て世代です。着実に効果は表れていると感じています。学校の大規模改造も始まりました。ことしと来年の2カ年で鶴ヶ丘小学校と大井西中学校、来年の夏休みと再来年の夏休みで三角小学校と亀久保小学校、1校数億円とかがかりますので、他の自治体ではなかなかできないことだと思っています。合併前は上福岡市も大井町も学校の改修にお金をかけてきませんでした。例えば、皆さんのお子さんが卒園して小学校に入学すると「洋式トイレがない」とよくおっしゃいます。今の子どもたちの多くは生まれた時から洋式トイレしか使ったことがないですよ。ですから、洋式化や床のドライフロア化をすすめて、清潔感のあるトイレにしてあげたいと思います。とはいえ、すべての小中学校を一度に手掛けるわけにはいかないのです、あまりにもひどいところから進めるようにしています。

私が今日うれしかったのは、はじめに発達障がいのお話がありましたが、保護者の方は不安でいっぱいだと思います。そんな中で、身近にいる方たちが代弁して声を届けてくれたということです。できるだけ着実に取り組むようにしていきたいと思っています。発達障がいに関する相談や対応は小学校でもやっていますし、健診時にもやっていますが、幼稚園や保育園においても充実させていきたいと思っています。

司 会	もうそろそろお時間なのですが、何かまだありますか。
参加者	<p>この時期になるとインフルエンザが騒がれています。任意接種ということでそれぞれ医療機関で接種していますが、私が子どもころは集団接種で費用も無料だったと思います。そのようにはできないのでしょうか。受ける受けないは個人の自由だと思いますが、1人がインフルエンザにかかるとその親に感染し、周りの方にもうつりますよね。しかも医療機関で費用がばらばらですよね。</p> <p>予防接種手帳についてですが、忙しいとつい接種時期を忘れてしまいがちです。転入してきた方など手続きをしている間に接種時期を過ぎてしまったなどという話も聞きました。市から通知をいただければと思っています。</p>
市 長	<p>インフルエンザについては、国が任意接種だと定めていますし、保護者によってはワクチンについての考え方がさまざまです。また、仮に集団接種する場合はワクチン接種のリスクも行政は考えていかなければなりません。こういう中では難しいかなと思います。</p> <p>接種費用は医師会と話し合いをしています。かなり安く設定していると思いますが、確かに金額に幅があることは分かっています。</p> <p>確かに接種費用はけっこうかかりますよね。新型のインフルエンザが流行しそうな時は接種費用の助成をしましたが、通常時は財政面からも厳しいですね。こども医療費にも億単位のお金がかかっていまして、ぜひ皆さんにご協力いただきたいことがあります。中学3年生まで無料になりますが、だからと言って、小さなけがで医者には行かないでくださいね。この協力をしていただければ、もっとほかの子育て施策に予算を回せるんです。義務教育世代のご家庭の負担を少しでも減らそうというのが趣旨ですので、皆さんからお預かりしている税金を有効に</p>

	活用できるよう、ぜひよろしく申し上げます。
参加者	<p>社保の方からジェネリック薬品を使用するよという話がありますが、薬局に行くとジェネリックは取り寄せになりますと言われました。ジェネリックを使えば、会社や市の負担を減らせるはずなのに、なぜ普及しないのですか。</p>
市長	<p>先生に相談すればジェネリックでもいいかどうかを言ってもらえると思います。そこでジェネリックにするかどうかが決まるわけですから、個々の薬局に常備しておくことは、保管場所や費用など物理的な面から難しいのかもしれませんが。医師会とはジェネリック使用について進めていきたいという話し合いはしていますし、国民健康保険ではジェネリックを推奨していこうという方向ですんでいます。医薬品にかかる費用はけっこう高いので、ジェネリックを使った方がいいと思っています。</p>
参加者	<p>埼玉県は、東京や神奈川に比べてマンションが売りづらい都市だと聞いたことがあります。その中でも浦和市は売れていたそうです。それは文教都市宣言をして、学校を誘致したり環境を整備したりしたからということです。ふじみ野市も大学を誘致するなど、自治体だけでは無理かもしれませんが、他の市町村から引っ越してきたくなる動機づけができるようなメッセージ性があるものをやられるといいと思います。いくつかの企業が市から撤退するという話も聞いています。跡地に何ができるのかという不安もありますので、なおさらそう思います。</p>
市長	<p>ありがとうございます。まさにその通りですね。</p>
司会	<p>3ほかに何かありますか。なければお時間なので終了したいと思います。本日はありがとうございました。</p>



(座談会風景)